

子どもの予防接種スケジュール

予防接種は、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに受けることが大切です。主治医に相談して、お子さんに合わせた予防接種のスケジュールをたてましょう。

区分	種類	0歳											1歳											2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳							
		1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳1か月	1歳2か月	1歳3か月	1歳4か月	1歳5か月	1歳6か月	1歳7か月	1歳8か月	1歳9か月	1歳10か月	1歳11か月	8	9	10	11	12	13							
定期の 予防 接種	生ワクチン 口タウウイルス	1		2		3		2種類のワクチンがあります。																												
	不活化ワクチン B型肝炎		1		2		3		※一般的なスケジュール：1回目の4週間後に2目を、1回目接種から20週間後に3目を接種します。																											
	不活化ワクチン ヒブ		1	2	3		4																													
	不活化ワクチン 小児肺炎球菌		1	2	3		4																													
	不活化ワクチン 4種混合 (DPT-IPV)		1	2	3		4																													
	生ワクチン BCG（結核）			1		2種混合（DT）： 11歳で追加接種 (接種対象：11～12歳)																														
	生ワクチン 麻しん(はしか)・風しん (MR)					1		2																												
	生ワクチン 水痘 (水ぼうそう)				1				2																											
	不活化ワクチン 日本脳炎																					1	2	3			4									
	不活化ワクチン ヒトパピローマ ウイルス感染症 (HPV)																																			
任意の 予防 接種	生ワクチン おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)			1		2																														
	不活化ワクチン インフルエンザ		※13歳未満：毎年2回、10月と11月頃に接種しましょう。																																	
	不活化ワクチン 髄膜炎菌		2歳から受けられます。海外留学や寮生活をする人などは接種が推奨されています。																																	

不活化
ワクチン

不活化ワクチン

生
ワクチン

生ワクチン

定期予防接種の対象年齢

任意予防接種の対象年齢

←○→ おすすめの接種時期（数字は接種回数）

（説明）

接種間隔：次のワクチン接種までの間隔は、注射の生ワクチン接種後に注射の生ワクチンを接種する場合は27日以上です。

同時接種：医師が必要と認めた場合は、同時に複数のワクチン接種を受けることができます。ただし、それぞれ別の日に単独で接種を受けることができることを医師から説明を受けたくらう、保護者が同時接種に同意することが必要です。